


第14回全国中学校（教科）柔道指導者研修会開催要項  
《国庫補助事業》

- 1 趣 旨 中学校保健体育武道（柔道）授業の充実に向けた研修会を実施し、柔道を専門としない中学校保健体育科教員の指導力向上に資する。
- 2 名 称 第14回全国中学校（教科）柔道指導者研修会
- 3 主 催 公益財団法人日本武道館、公益財団法人全日本柔道連盟
- 4 後 援 スポーツ庁、勝浦市教育委員会（予定）
- 5 期 間 令和5年10月13日（金）～15日（日）  
10月13日13時に開始、10月15日11時に終了予定  
詳細は同封の日程表を参照すること。
- 6 会 場 日本武道館研修センター  
住所：千葉県勝浦市沢倉 582
- 7 宿 泊 場 所 日本武道館研修センター（会場と同じ施設）  
住所：千葉県勝浦市沢倉 582
- 8 募 集 人 数 94名（原則として各都道府県2名）  
（参加募集人数よりも多い申し込みがあった場合、主催者が参加者の選考、決定を行う。）
- 9 参 加 資 格 柔道を専門としない柔道未経験者及び柔道を専門とするが教科指導経験の浅い保健体育科教員で、授業における柔道指導において指導内容・方法のポイントや注意点について学びたい者、または学校保健体育を担当する行政職員の参加を優先する。  
また、柔道を専門としある程度指導年数がある教員であっても、自身の授業指導のスキルアップを望む者の参加も認める。  
上記以外に主催者が特に参加を認めた者も参加することができる。
- 10 申 込 方 法 （1）都道府県、区市町村教育委員会から各中学校へ通知の上、参加を希望する者は所属長の許可を得たうえで以下のURLにアクセスしフォームに記載をするか、参加申込書を全日本柔道連盟振興課普及係宛にメールにて提出すること。  
参加申込フォーム（インターネットを通じた申し込み）  
URL もしくは QR コードからアクセス  
URL：[参加申込フォームはこちらをクリックしてください](#)
- 
- インターネットを通じての申し込みが出来ない者は参加申込書（本通知書に同封）をメールにて送信すること。  
メールによる申し込み：promotion@judo.or.jp
- （2）提出期限：9月8日（金）必着
- （3）最終的な参加の可否については、2023年9月15日（金）までに申込者に対して直接メールにて通知を行う。  
※旅券の手配はメール受領後に行うこと
- （4）参加回答取りまとめは、全日本柔道連盟振興課普及係が行う。  
（連絡先は、以下の【問い合わせ先】を参照のこと）
- 11 参加者補助
- （1）参加費：無料（資料・テキスト代含む）
- （2）旅費（交通費・宿泊費）
- ①日本武道館が定める旅費計算基準（内規）に基づく往復交通費及び宿泊費（10月13日から2泊）・食事（10月13日夕食～10月15日朝食）を各都道府県2名まで補助する。  
ただし、所属団体などより往復交通費の補助を受けている参加者には補助しない（申込書に必ず記入のこと）。
- ②交通費は、研修会への出席を確認の上、終了後に振込による支払いとする。宿泊費（食事付）は、主催者（日本武道館）と宿泊施設間で精算するため、参加者に対して直接的な支払いは行わない。

③航空券・旅券は各自手配のこと。なお、パック商品の使用は原則不可とする。※航空券・旅券の手配は、参加が確定次第行うこと。

④手配した旅券のうち、航空賃については、購入時の領収書と搭乗半券（コピー・電子データ可）の提出をもって実費精算するので、必ず保管しておくこと。なお、航空賃の補助は、北海道、四国、九州（沖縄県含む）に居住地を有する者を対象とし、それ以外は鉄道賃の補助とする。航空賃の額は、当財団が定める航空賃（スタンダードクラス座席の通常料金相当）を上限として実費を支給する。したがって早割で上位クラス座席を利用した場合であっても、早割かつ通常の座席料金までの支払いを原則とする。提出方法等は参加申込者に対して後日送付する書類を参照のこと。

- 12 所持品 室内履き（スリッパ）、柔道衣（白色）もしくはトレーニングウェア  
洗面具、筆記具、健康保険証など  
※未経験者（初心者）は、トレーニングウェアでの参加を認める。
- 13 研修計画 別紙「実施内容・日程表」により実施し、全課程を修了した者には主催者より修了証を授与する。
- 14 個人情報・肖像権 本事業にて取得した個人情報は、本事業及び公益財団法人日本武道館主催武道行事に関する以外には利用しない。また、参加申込書を提出いただいたことにより、本事業において撮影した写真や映像を関係者（団体）に提供することや本事業の広報目的に利用することについて同意いただいたものとする。
- 15 前年報告書 以下の URL（日本武道館 HP）にて、前年の事業報告を掲載している。  
[【報告書】第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会](#)
- 16 その他 参加者には、日本武道協議会設立 40 周年記念『中学校武道必修化指導書（DVD3 巻付）』（武道編・柔道編）を無償配布する。



同封書類：

- ・ 日程表
- ・ 参加申込書(インターネットによって申し込みをされる方は参加申し込み書の提出は不要)
- ・ 本事業紹介資料

【問い合わせ先】

◎研修内容・日程、参加申込フォーム・参加申込書などについて  
公益財団法人全日本柔道連盟 振興課普及係  
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館本館 5F  
TEL 03-3818-4430（土・日・祝日を除く）  
E-mail：[promotion@judo.or.jp](mailto:promotion@judo.or.jp)

◎旅費、会場及び宿舎などについて  
公益財団法人日本武道館 振興部振興課  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3  
TEL 03-3216-5134 FAX 03-3216-5117（土・日・祝日を除く）

以上

第14回全国中学校（教科）柔道指導者研修会 日程表

	10月13日（金）		10月14日（土）		10月15日（日）
		6:00	起床	6:00	起床
		7:00	朝食	7:00	朝食
		8:00	準備	8:00	準備
		9:00	講習4 「受け身 基礎・応用」 (高品 亮輔)	8:30	講習10 「評価の実際」 (田中 裕之)  講習11 「柔道授業の魅力を考える」 (木村 昌彦)
		9:50 10:00	休憩		
			講習5 「固め技 基礎」 講習6 「固め技 応用」 (濱岡 睦月)	10:45	総括 (高橋 進)
11:00	講師・職員 集合 打合せ	11:20 11:30	休憩		
12:00	昼食		講習7 「投げ技 膝車」 (前瀧 大吾・高橋 健司)	11:00	閉講式
13:00	受付 (13:00~13:50)		昼食・休憩		解散
13:50	記念撮影				
14:00	開講式	14:00	講習8 「投げ技 体落とし」 講習7 「投げ技 大腰」 (山根 友樹)		
14:20	オリエンテーション				
14:40	講習1 「教育に生かす武道の心」 (田中 裕之)	15:20	休憩		
15:30	休憩	15:30	まとめ		
15:40	講習2 「講道館柔道・礼法」 (向井 幹博)	16:20	入浴		
16:30	休憩				
16:40	講習3① 「基本的な指導」 (高橋 健司)	17:00	夕食・入浴		
17:30	休憩				
17:40	講習3② 「基本的な指導」 (高橋 健司)	18:30	懇親会		
18:30	入浴・夕食				
20:00		20:00			
備考欄	柔道衣着用		柔道衣着用		

※都合により、内容を変更する場合がございます。  
 ※DVD映像については各自事前視聴し研修会にご参加ください。

# 第14回全国中学校（教科） 柔道指導者研修会

授業指導のスキルアップを  
目指したい先生方へ

参加費無料

スポーツ庁後援  
※派遣依頼文書送付対応可

【日時】 2023年10月13日(金)～15日(日)

【場所】 日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）

【参加対象】  
・柔道を専門としない保健体育科教員  
・柔道を専門とするが教科指導経験の浅い保健体育科教員  
・その他、教科指導のスキルアップを目指している保健体育科教員



## 中央講師

高橋 進（大東文化大学）  
高橋 健司（練馬区立貫井中学校）  
木村 昌彦（横浜国立大学）  
田中 裕之（全日本柔道連盟）  
向井 幹博（講道館）  
神谷 兼正（愛知真和学園大成中学・高等学校）  
曾我部 晋哉（甲南大学）  
久保田 浩史（国立大学法人東京学芸大学）

## 科目講師

受け身（基礎、応用）  
高品 亮輔（千葉県勝浦市立勝浦中学校）  
固め技（基礎、応用）  
濱岡 睦月（島根県大田市立大田西中学校）  
膝車  
前瀧 大吾（東京都葛飾区立青葉中学校）  
体落とし、大腰  
山根 友樹（山口県長門市立深川中学校）

公益財団法人 全日本柔道連盟 振興課普及係

お問い合わせ

TEL 03-3818-4430（平日:10:00～17:00）

MAIL [promotion@judo.or.jp](mailto:promotion@judo.or.jp)

参加申込

URL 下記URLもしくはQRコードより申込フォームをご回答ください

<https://form.run/@promotion-QQiD6RGpDLbPzx5Wj2w1>



※本事業は日本武道館と全日本柔道連盟の共催事業になります